

令和8年度 当新教研 数学部会研究計画

◎ 研究主題

『思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり』

【研究仮説】

生徒が主体的に「問い」に関わり、質の高い数学的活動に取り組ませていく授業づくりを行うことで、「論理的に考える力」「筋道立てて説明する力」「学習したことを深化・統合・発展させる力」等の思考力・判断力・表現力を育成することができる。

という視点を持って研修を進めていく。

◎研究内容（研究内容を具体化したもの、今年度の重点や取り組みなど）

生徒が主体的に「問い」に関わることのできる**授業づくりの工夫**

- （１）問題の工夫 …生徒が自ら問いを生み出し、その問いに主体的に関わることができるよう問題内容や問題提示を工夫する。
- （２）学習活動の工夫…生徒が生み出した問いを主体的に解決できるよう、質の高い数学的活動に取り組ませる工夫をする。
- （３）発問の工夫 …問題提示や数学的活動の工夫をより充実させることができるよう、意図的な発問を工夫する。

◎研究方法（研究実践の手立て、役割分担、組織など）

役割分担 推進委員 吉川 洋志（とうべつ学園）

副推進委員 石本美奈子（西当別中）

6月 中間研究協議会

→ 新篠津中学校 学校 萬谷 剛史 教諭 の授業公開、事後研

9月 第2次研究協議会

→ 石教振 数学部会との共同研究 ※公開授業の事後研の予定

※今年度、実践的な研究を行うため、研修会・講演会は実施しません。

石教研数学部会と連携しながら、研究を推進する。

・ 7月 理論研修会 ・ 10月 石教研第2次研究協議会 ・ 2月 数学の窓作成